

平成26年度特別選抜（推薦入学）入学者選抜試験問題

小論文（出題意図）

医学部看護学科

問題1

著者は、わかるためには、まず自発的にわからないことをはっきりさせ、自ら解決してゆかないかぎり、自分の能力にはならないと述べている。わかるとは、文や絵などの表現活動（運動）に変換できることであり、具体的な知識の裏に潜む原理が理解できていれば、その知識は他の現象にも応用できるという、わかることの本質について論述している。

問1：著者の主張についての文章の読解能力と、限られた文字数で適切にまとめる文章表現能力を問う。

問2：著者の主張をふまえ、別々の引き出しにしまいこまれていた知識がつながるとはどういうことかについての文章読解力と、限られた文字数で適切にまとめる文章表現力を問う。

問3：著者の主張および問2をふまえ、別々の引き出しにしまいこまれていた知識がつながるということについて、自分の身近な体験を取り上げ、具体的・論理的に記述する論理構成能力および文章表現能力を問う。

問題2

図1と図2は、平成13年と平成23年の生鮮食品の摂取状況の変化を示している。また、表1は、人々が身体活動や運動に期待する効果についての調査結果を示している。

問1：生鮮食品の摂取状況の変化について、図から事実を読み取る読解能力と、限られた文字数でまとめる文章表現能力を問う。

問2：人々が身体活動や運動に期待する効果について、表から事実を読み取る読解能力と、限られた文字数でまとめる文章表現能力を問う。

問3：図表から読み取った生鮮食品の摂取状況と身体活動や運動に期待する効果をふまえ、望ましい健康づくりのありかたについて、具体的・論理的に説明するための文章構成能力および文章表現能力を問う。